



宇治市 音楽連盟だより

第107号

平成30年11月15日
発行 宇治市音楽連盟
会長 中西秀樹
宇治市広野町小根尾138-16

宇治市音楽連盟 検索

～音連ミュージックフェスティバル2018を開催～



フィナーレの全体合唱



ミュージックフェスティバルから第九へ

宇治市音楽連盟会長 中西秀樹

第32回音連ミュージックフェスティバル2018は秋晴れの中、10月21日（日）宇治市文化センター大ホールで開催いたしました。音楽連盟も発足以来30年を超え、高齢化の波にのまれるように活動を停止する団体が出てきました。連盟の規模が縮小することは残念ではありますが、今回私たちは逆にある意味チャンスととらえ生かすことを考えました。

会場の宇治市文化センターの周辺は住宅地であり、会場の外で楽器の音や声を出すことはできません。そのため別の練習会場でウォームアップしてから来場する出演団体がこれまで少なくなかったと思います。その不便を解消する方法として、午前中文化会館と中央公民館の各練習室等を各団体に割当て、時間を区切って練習できるようにしました。そうすると例年、開演時の客席は比較的寂しい状況がありましたが、今回は開演の12時半にはすべての出演団体が会場に集まり、ウォームアップを兼ねたオープニングコーラスを始めることができました。

また、フィナーレでは恒例の「大地讃頌」を全体合唱しました。例年ピアノ伴奏で演奏していますが、今回はピアノに宇治シティフィルハーモニーのオーケストラも加わって大編成の演奏となり、大いに盛り上りました。

一方、12月9日に予定されている第15回宇治市第九コンサートも熱のこもった練習が進んでいます。合唱団員は約130名と予定を超えるメンバーが集まっていました。本番の指揮を執るのは牧村邦彦氏。シンフォニーのみならずオペラを最も得意とする日本では数少ない指揮者のお一人です。氏の声楽に対する強い思い入れが合唱団への指導に生かされることと大いに期待するところです。演奏会当日、皆さん多数のご来場を心よりお待ちしています。